

国土舘大学大学院入学試験問題用紙

修士課程

社会人選考

研 究 科	専 攻	試 験 科 目	参考書等持込
法学研究科	法学専攻	小論文Ⅰ（志望専修科目の基礎）民事手続法研究A	不可

遺言者生存中に提起された遺言無効確認の訴えの適法性について、論述しなさい。

国士舘大学大学院入学試験問題用紙

修士課程

社会人選考

研 究 科	専 攻	試 験 科 目	参考書等持込
法学研究科	法学専攻	小論文Ⅱ（志望専修科目の基礎）民事手続法研究A	不可

医療事故における診療録については、「文書の改ざんのおそれ」自体が証拠保全の事由となることは一般的に認められている。しかし、具体的に「証拠保全の事由」（民事訴訟法規則第 153 条 2 項 4 号）として、どのような主張内容が求められ、どの程度の疎明（同条 3 項）が必要とされるかについては争いがある。「証拠保全の事由」の主張内容および程度について論述しなさい。

【参照条文】 民事訴訟法規則第 153 条

- ① 証拠保全の申立ては、書面でしなければならない。
- ② 前項の書面には、次に掲げる事項を記載しなければならない。
 - 一 相手方の表示
 - 二 証明すべき事実
 - 三 証拠
 - 四 証拠保全の事由
- ③ 証拠保全の事由は、疎明しなければならない。